

全国月間火山概況

桜島の昭和火口では、1日から2日にかけて昭和火口で爆発的噴火が3回発生したことなどから噴火活動は活発化する傾向にあると判断し、2日に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。その後、10日05時22分に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が2合目（昭和火口から2km付近）まで達したことから、噴火活動は活発化する恐れがあると判断し、10日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替えました。

浅間山では、15日にごく小規模な噴火が発生しました。その後も火山性地震はやや多い状態が続いていますが、2月2日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震の増加は認められないことや、二酸化硫黄の放出量も減少してきていることなどから、山頂火口から4kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられ、4月7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

口永良部島では、GPSによる地殻変動観測で、2008年9月以降続いていた新岳火口浅部のわずかな膨張を示す変化が2009年2月以降鈍化し、2008年9月から12月頃にかけて増加した二酸化硫黄の放出量も2009年1月以降やや減少していることなどから、火口から半径2km程度に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、18日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

その他の火山の予報警報事項に変更はありませんでした。

4月7日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表1 4月7日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	雌阿寒岳、浅間山、三宅島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図 1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

雌阿寒岳【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

ポンマチネシリ火口の噴煙は火口縁上 200～300m で推移し、噴火前と比べて以前やや多い状態ですが、噴出の勢いは次第に弱まってきています。火山性地震は 21 日に一時的に 97 回と増加したほかは、一日当たり概ね 30 回以下とやや多い状態で推移しました。また、火山性微動も時々発生しました。

雌阿寒岳の火山活動は引き続きやや高まった状態となっており、今後もごく小さな噴火が発生する可能性があることから、ポンマチネシリ火口から約 500m の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では少量の降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】 ← 4 月 7 日に噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引下げ

15 日 23 時 48 分頃、ごく小規模な噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上 200m まで上がり東へ流れました。翌日に行った現地調査では、山麓で降灰は確認されませんでした。

31 日に群馬県の協力で実施した上空からの観測では、山頂火口内は噴煙が充満し、火口底の状況は確認できませんでしたが、火口周辺には新たな噴出物等は認められませんでした。

11 日、12 日、19 日及び 30 日に実施した火山ガス観測では、山頂火口からの二酸化硫黄の放出量は一日あたり 1,400～3,600 トンと、2 月の噴火前後の観測と比べ減少しているものの、引き続き多い状態で推移しました

火山性地震はやや多い状態が続いていますが、2 月 2 日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震

の増加は認められないことや、二酸化硫黄の放出量も減少してきていること、傾斜計による地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められないことなどから、山頂火口から4 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられ、4月7日13時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね2 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です

三宅島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

4月1日16時17分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上600mまで上がり東に流れるのを観測しました。1日夕方に行った現地調査では、山頂火口から約3 kmの島の東側で微量の降灰が確認されました。

5日及び16日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり1,000～1,700トンで、前期間(2008年2月、一日あたり1,300～2,300トン)と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いています。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

噴煙高度は火口縁上100～200mで推移しました。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には泥流にも注意が必要です。

硫黄島 【火口周辺警報(火口周辺危険)】

独立行政法人防災科学技術研究所及び国土地理院の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過していますが、2006年8月以降みられている島全体が隆起する地殻変動は現在も継続しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

福德岡ノ場 【噴火警報(周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報】

19日に海上保安庁海洋情報部が実施した上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海面で火山活動によると見られる変色水が確認されました。これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水が確認されています。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

阿蘇山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

中岳第一火口南側火口壁の噴気孔からの火炎現象は、夜間に行った現地調査で時々観測されました。また、日中に行った現地調査では、同噴気孔から微量の火山灰が時々噴出しているのを確認し、24日の観測では、南西観測点(?)で微量の降灰が確認されました。

5日、10日、18日及び27日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり200～700トンで前期間(2008年1月、一日あたり200～400トン)と同様、少ない状態で経過しました。

中岳第一火口の湯だまりの表面温度や湯量に大きな変化はありませんでした。

地磁気観測による火山体内部の熱の状況では、2006年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられましたが、2008年以降はその増加傾向が鈍っています。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、火口内では火山灰や火山ガスの噴出が見られることから、火口内及びその周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要です。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要です。

桜島【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】 ←3月2日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引上げ、3月10日に火口周辺警報の警報事項を切替(噴火警戒レベル3、(入山規制)継続)

桜島の昭和火口では、1日から2日にかけて、爆発的噴火が3回発生し、2日06時53分には弾道を描いて飛散する大きな噴石が昭和火口より4合目(火口から800mから1300m)まで達しました。また、大隅河川国道事務所が有村に設置している傾斜計の観測では、山体の膨張と考えられる変化が認められました。このため、桜島の噴火活動は活発化する傾向にあると判断し、2日10時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げました。また、昭和火口では10日05時22分に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が2合目(昭和火口から2km付近)まで達しました。このことから、桜島の噴火活動は活発化する恐れがあると判断し、10日07時10分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3を切り替えました。

桜島の直下にマグマが新たに移動、上昇したことを示す地殻変動は観測されていません。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に、降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の高さは火口縁上概ね50~100mで推移しました。火山性地震はやや多い状態が続いています。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では警戒が必要です。

口永良部島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】 ←3月18日に噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)から引下げ

GPS連続観測では、平成20年9月以来認められていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、今年2月頃から鈍化しています。ガス観測では2009年9月から12月頃にかけて増加した二酸化硫黄の放出量が2009年1月以降、やや減少しています。火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いています。

これらのことから、火口から半径2km程度に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、18日13時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。

遠望カメラ(新岳火口の北西約3km)の観測によると、新岳(しんだけ)火口から火口縁上概ね100mの噴気が時々観測されました。

口永良部島では、今後、火口から1km程度の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

諏訪之瀬島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

御岳火口では、爆発的な噴火が13回発生したほか、小規模な噴火も時々発生しました。諏訪之瀬島では長期的な噴火活動を繰り返しています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口から約1kmの範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では警戒が必要です。

資料 1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 21 年 4 月 7 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	十勝岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	浅間山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	新渥焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域危険）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜 島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山